



(都内某所の公園にて)

朝夕に加えて、日中でも肌寒さを感じる日がちらほら。それもそのはず、暦の上ではもう冬なんですね。日暮れも早まる時期。運転の際は、早めの点灯で、ご安全に！

・ ・ 所変われば 何変わる？ ・ ・

私事ですが、このたび、住み慣れた町・愛する所沢の地を離れる決意をし、先月、引っ越しをしました。隣の市ですし、車では何度も近くを通過していたのに、市役所の食堂から航空公園が見えないとか（当たり前）、マスコットが『トコロん』じゃないとか（今の市のマスコットもカワイイですけど）、些細なことで不意に所沢との違いを実感することがあります。

特にまだ慣れないのが「ごみ出し」ルールの違い。

ペットボトルの回収日が月に1回だったり、「小型家電」が「もやさないごみ」に含まれていたり、曜日が違ったり、ちょっとした違いにとまどっています。なぜ自治体ごとにルールが変わるんだろう、統一した方が分かりやすいのに、なんて考えてみたりもするのですが、人口や（焼却）施設の処理能力、作業員の数などの影響で、自治体によって処理方法が異なることも、統一が難しい原因の1つようです。

…、なんて書きながら思うのは、2年前の自分ではそんな疑問さえ抱かなかったということ。このゴミ、燃える？ 燃えない？ 再利用するの？ 程度で、たぶん「燃やす」「燃やさない」という考え方もなく。

当社に入って、やっと私の『意識』も変わり始めたのかな、と思ったりする今日この頃です。

え？ 『知識』の方ですか？

そちらは、もう少し時間が掛かりそうです。。。

・ ・ 自分が変われば 何変わる？ ・ ・

学生の頃に読んだ本に、「自分が変われば、周りも変わる」というような言葉がありました。「まず自分が変わり、自らがインフルエンサーとなって、周囲を変えてゆくのだー！」とかいう高尚な話かということ、そんなことではなく、「自分が見方（事象の捉え方）を変えれば見える景色（感じる印象）も変わってくるんだよ」というものでした。

「心の持ちよう」で世の中は楽しくもなり、苦しくもなる、という内容で、私にはメカラウロコでした。

それから数十年、今の私はというと、感情と勘定に揺れ動かされる毎日です。何も変わっていないなあ。

・ ・ 時代が変われば 何変わる？ ・ ・

先日、ある冊子で「煮詰まる」という言葉が「会議で意見が出なくなる」という意味で使われている記事を読んで、あれ？ と感じました。誤用かな？ と。

調べてみると、最近ではそういう意味が追加されている辞典もあるようで、ちょっとびっくりしました。

私が教わってきた言葉の成り立ちなどを考えると、少し腹落ちしない気もしましたが、時代に応じて物事が変化することや、その変化を柔軟に受け容れる姿勢というのは、言葉に限らず、必要なことなんだろう、とも感じました。

ただ、1つの言葉が真逆の意味を持ってしまうと、誤解によるトラブルも増えそうです。状況・文脈から判断したり、相手に確認したり、丁寧に伝えたりすることが、これまで以上に重要となるのでしょう。

時代が変わっても、相手を思いやる気持ちっていうのは変わっちゃいけないと感じた、ある秋晴れの日。

一日の寒暖差が厳しくなる季節です。

皆様くれぐれもお身体ご自愛ください。